



# 川柳風に 自衛隊盾の任務が矛になる

孫：この句は「敵基地攻撃能力」を持つことにしたの言ってるの？こないだの中日新聞の一面に「安保政策 歴史的転換」って大きい見出しで書いてあったよ。

爺：うん、そうや。「専守防衛（盾）」だったのが「敵基地攻撃（矛）」になるんやでな。

孫：社説でも『平和国家と言えるのか』と題して、「敵基地攻撃能力を持つこと」と「防衛費を倍増させること」を大きな問題として書いていたと思うよ。

爺：それは12月17日の社説やな。前の日には、岸田派「宏池会」の前会長で岸田首相の師匠にもあたる古賀誠さんがインタビューに答えて、「敵基地攻撃能力の保有は『専守防衛』を完全に逸脱している」し、「日本の安全保障は政治や経済、国防、外交といったありとあらゆる力を結集し、軍事大国への道を避けるのが基本」だったと話しておいでよ。

孫：古賀さんと言えば自民党の重鎮のはずなのに、自民党はどうして歴史的と言われるような政策転換をしたの？古賀さんは抑えることができなんだのだろうか。僕にはよく分らんやけど。

爺：まあ、その経緯は分からんが、これまでの流れから考えると、やっぱり背後にあるのはアメリカの戦略やろうな。

孫：戦略？

爺：政治学者の渡辺治さんは、中国の急速な経済的・軍事的発展のなかで、米国は危機感を強めて『対中国覇権主義競争・軍事対決戦略』に世界戦略を大転換したと言っている。そして、アメリカは軍事的負担を同盟国に肩代わりをさせる戦略に出たというわけだ。「防衛費GNP比2%」という大軍拡は、日本では2021年のバイデン・菅会談で約束したが、同様にNATO諸国にも要請している。

孫：へえーそうか。いくら重鎮でもアメリカには勝てんというわけだね。

## なかよしは幼稚園から世界まで

爺：もっとも、そんな本音は言えないので、政府は「戦後最も厳しく複雑な安全保障環境になった」と、周辺国がアブナイからと転換の理由言っておるが、確かに中国の周辺海域での軍事的圧力、北朝鮮の核・ミサイル開発にロシアのウクライナ侵攻も重なって、国民の間に不安や危機感が広がっているのも事実のようだ。これは「オオカミ少年」の話のようにある種の説得力があるところがどうも怖い。本当はもっと冷静に見ることが大事やと思うが・・・。

孫：冷静にとっても、中国や北朝鮮が日本を攻撃してくるかもしれないと思うと、やられてからでは遅いというのが大方の見方でないやろか。結局、敵基地攻撃が・・・

爺：ほうやなあ・・・そう思えてくるのもわからんではないが、でもなこれから先、中国や北朝鮮なんか攻めて来るか来ないかを詮索したところで、そんなに意味がないんではないか？結局は分からないことや。分からないことを論じていると、行き着く先は万一の備え（抑止力）と先制攻撃しなくなるんではないか。

孫：それは、戦争への道や！

爺：要するに相手のことは、いくら考えても分からんや。逆に、自分のことはよく分かる。分かることを地道かつ確実にやるんだ。

孫：??

爺：分からんか？よその国が日本という国を攻撃しようとは思わないような日本になることや。これなら自分の努力で確実にできるやろう。

孫：なるほど。相手を変えようとするなら自分が変われということやな。じゃあ爺、日本は何をすれ

ばいいの？

爺：お前は思う？

孫：うん・・・日本に軍隊が無ければ、少なくとも日本から攻撃される心配はないよね。そうか、それが9条の意味か。じゃ、今の日本は全く逆のことをやろうとしているわけだ。

爺：そういうことになるな。大軍拡には9条は邪魔というわけだ。他にはないか？

孫：やっぱり仲良くなることかな？

爺：それが一番の基本かな？仲が良ければ喧嘩はせんからなあ。

孫：幼稚園のころから、どこでもいつでも「なかよし」って言われたもの。友達でも国際社会でもそれは一緒なんだね。

爺：いい例がある。東南アジアの10か国が「ASEAN」(アセアン)」というグループを作っている。このすべての国同士が仲良しというわけではないし、いろいろと利害もあるようだが、とにかく徹底した話し合いを数限りなくやることで協調と友好を維持しているんだ。

孫：学校で習ったよ。それを外交っていうんだよね。

## 国権の最高機関いま閣議



爺：習ったついでに質問や。国権の最高機関は？

孫：国会。

爺：その通り、さすがわしの孫や。国会が一番上位なんやけど、2014年に安倍内閣が閣議決定というやり方で「集団的自衛権の解釈変更」をやってまった。この時から、国会を無視して、大事なこともくだらんことも「閣議決定」「閣議決定」で進めていくようになってしまったんや。

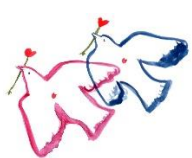
孫：国会議員は怒らんの？

爺：よう怒らんやろな。議席と大臣の椅子が欲しい議員ばっかやでな。問題は、軍備増の財源のための増税や、敵基地攻撃のためのトマホークを大量に買い込むという戦争への準備ともいえることを、国会にも諮らずに決めてしまう・・・これはもうファシズムというべきや。マスコミも決定事項の垂れ流しじゃなく、もっと掘り下げて報道すべきや。この流れは、全く戦前と同じ道を辿っている。かつて「仕方がない」で軍部の独走を追認するだけになったことが、中国・朝鮮・東南アジアの人たちを塗炭の苦しみに陥れ、日本をも悲惨な状況にしたんやで。

孫：爺が怒った！！

古川義明

### 平和の川柳



戦争のニュースに慣れていく怖さみよ子  
持たせたい憲法九条ロシアこそ 薫  
あの熱狂九条改悪阻止にこそ 敬次  
ヒシヒシと戦前に戻るにおいする 英子  
軍事費と国葬費には気前よし 笑美子  
税金の無駄遣いだよ国葬は 涼子  
我が道を行けぬ日本わびしいね と志ゑ  
日本は愚かな戦しないよね 美千代  
核兵器地球の危機に逆行し 政子  
軍事力強化するのが骨太か 清美  
骨太で庶民の骨はやせ細る 義明  
許さない軍拡予算どこまでも 久治  
むしろ旗立て国政を立て直す 昌三

(全日本年金者組合郡上支部  
川柳クラブ作品より)